

# 聖公会国際礼拝協議会

## アングリカン・コミュニオン内ネットワーク

### 2015 モントリオール会議 —— コミュニケ 共同的和解についての礼拝式

1. 聖公会国際礼拝協議会 (International Anglican Liturgical Consultation) はカナダのモントリオールにて 2015 年 8 月 3 日から 8 日まで会議を開いた。協議会は、モントリオール教区教務院事務局によって温かく迎えられ、その施設を利用させていただいたことに感謝する。アングリカン・コミュニオン・オフィスからは、一致・信仰・職制部のディレクターである、ジョン・ジボー氏が代表として出席した。
2. アオテアロア・ニュージーランド・ポリネシア、オーストラリア、カナダ、イギリス、香港、アイルランド、日本、韓国、フィリピン、スコットランド、ソロモン諸島、南アフリカ、アメリカ合衆国、ウルグアイ、ウェールズからの委員が出席した。ビザの問題のために協議会に参加できなかった委員が今回も数名いたことは残念である。
3. 奨学金資金を通して、何名かの委員の参加を援助することができた。今後の会合に際して、この援助を確かなものとするためには相当額の奨学金醸金が求められるであろう。
4. 朝夕の礼拝では、クライストチャーチ大聖堂の会衆に加わることができたことを感謝する。日々のユカリストは、コミュニオンの様々な地域からのチームによって司式された。8 月 6 日の主の変容の祝日は、広島への最初の原子爆弾の投下から 70 周年の記念の日であった。和解という協議会のテーマに鑑み、これは香港・日本・韓国・フィリピンの委員によって司式された大変印象的な礼拝であった。

### 各管区の関心事

5. 管区報告が示すところでは、祈祷書・聖歌集・祈祷文改正への動きが数多くの管区で見られ、知識・資源・家庭を共有するためのこの集まりの重要性が強調されるどころであった。数多くの管区がこのような改正作業に取り組んでいるが、しばしばこれらの努力は財政・人材の不十分さによって妨げられている。
6. いくつかの共通の関心事が浮上した。例えば、聖職や信徒のリーダーに対する、礼拝を導くことについての不適切な訓練や礼拝的形成(liturgical formation)、多くの神学校や聖職養成課程で礼拝教育がもはや重要事と考えられていないことなどである。

### 和解への働き

7. 2013 年のダブリン協議会では、いやしと和解の諸式に焦点を当てた。和解に関するより広い社会的・構造的問題への議論の必要性がそれらの議論から浮上した。モン

トリオールでの作業は、和解の諸式や和解の過程の物語を探索する論文などの準備資料によって支援された。

8. この協議会は、カナダ聖公会首座主教フレッド・ヒルツ大主教、カナダ聖公会先住民担当主教マーク・マクドナルド主教、記憶の癒し研究所ディレクターのマイケル・ラプスレー神父 SSM によって多くの祝福を受けた。
9. フレッド大主教とマーク主教は、カナダインディアン寄宿学校での教会の役割について、先住民とカナダ聖公会とが共に歩んだ和解に向けての旅について探求した。マイケル・ラプスレー神父は、南アフリカでの癒やしと和解に向けた自身の道程と、研究所とそのワークショップのより広い働きの双方について語った。3 人の講演者は、自身の経験と異なる見地から語ったが、共通する土台は根深く組織化された政治的抑圧の認識であった。この抑圧は、諸民族を非人間化し、トラウマを与えた。3 つのプレゼンテーションすべてから明らかなのは、和解への道程は空間、時間、忍耐を必要とし、儀式的な機会とシンボル化された行いとを含むべきだということである。
10. 3 人のゲストから提示された問題点は省察され、そして小グループによる作業を通してリタージカルな枠組みに翻案された。議論の結果、共同的和解を支援する礼拝式のガイドラインと資料集とを作成することに関わることとなった。進行中のタスクグループは、以下の領域を探索している：
  - コンテキストにおける聖書関係箇所
  - 和解の神学と洗礼のアイデンティティ
  - 共同的和解の礼拝諸式を開発するための枠組み

本協議会は、カンタベリー大主教による「平和と紛争防止のための協議会」に注目し、この取り組みと協働することを願う。

## アングリカン・コミュニオンとの関係

11. アングリカン・コミュニオンのネットワークとしての本協議会の役割を検討し、強化するため、相当の時間が費やされた。以下のような協議会の目的を表現する、運営のための改訂ガイドラインが可決された。
  - 礼拝と祈りの生活を教会の宣教と一体のものとして刷新することにより、アングリカン・コミュニオンの教会間の交わりの深化を促進すること
  - 礼拝や共同の祈りに関する問いについて各管区や「一致の道具」に助言することと、聖公会の礼拝の神学や実践に関わる問いについて管区間の対話を奨励し、支援すること
  - アングリカン・コミュニオン内やエキュメニカルな関係双方における共通理解・調和性・一貫性を促進する意図をもって、アングリカン・コミュニオン内、またエキュメニカル・パートナーの礼拝的形成や実践における発展を検討し、それらに関する序言を各管区や「一致の道具」に与えること
  - すべての管区に対して、礼拝的形成・発展・実践の領域における新しい提案を支援すること

- 全聖公会中央協議会に対し、その作業の範囲と結果を報告すること

この過程は、アングリカン・コミュニオン一致・信仰・職制部ディレクターのジョン・ジボー師の出席と貢献によって大いに助けられた。

**アオテアロア・ニュージーランド・ポリネシア聖公会**：トリシア・カーター

**オーストラリア聖公会**：デーン・コートニー、エリザベス・スミス

**カナダ聖公会**：テリー・ブラウン、ジョン・ヒル、ジェイ・コイル、リゼット・ラーソン＝ミラー、エドワード・サイモン、アイリーン・スカリー、グレゴール・スネドン

**南アフリカ聖公会**：シンシア・ボタ、キース・グリフィス

**日本聖公会**：市原信太郎、尾尻早弥

**大韓聖公会**：チュ・ナッキョン

**南アメリカ聖公会(ウルグアイ)**：エンリケ・イヤーズ

**メラネシア聖公会(ソロモン諸島)**：アンダーソン・サエフォア

**ウェールズ聖公会**：キャサリン・ヘインズ

**英国聖公会**：アン・ダトリー、アレック・ジョージ、ハーヴェイ・ハウレット、クリストファー・アーバイン、ブリジット・ニコルズ、フィリップ・フランシス・トーヴィー

**アイルランド聖公会**：ジェラルド・フィールド、アラン・ルフリ

**香港聖公会**：ラム・チュンワイ

**フィリピン聖公会**：トマス・マデラ

**スコットランド聖公会**：ダグラス・コーナレンズ

**米国聖公会**：バリントン・ベイツ、ロバート・ブルックス、ウォルター・ノウルズ、ウィリアム・H・ピーターセン

**ACC オフィス**：ジョン・ジボー

